

特集 —— 統計数理研究所創立 40 周年記念シンポジウム

エントロピー最大化原理の展開と統計モデル

開 催 日：1984年10月2日～3日

オーガナイザー：石黒 真木夫（統計数理研究所）

シンポジウムの記録として講演発表要旨をとりまとめた。講演および発表要旨執筆を快く引き受けて下さった方々、会場設営あるいは進行にご協力いただいた方々に心からのお礼を申し上げる。講演内容の記事は石黒が担当した。

プログラム

赤池 弘次（統数研）	AIC とエントロピー最大化
甘利 俊一（東大）	統計的モデルの幾何学
石黒真木夫（統数研）	ベイズ型重回帰モデル
大江 昌嗣（緯度観）	変形する地球の運動と統計モデル
尾池 和夫（京大防災研）	地震の時空間分布の意味
尾形 良彦（統数研）	マグニチュード付き点過程モデルの地震系列への適合とノイズ分析による巨大地震の予測
尾崎 統（統数研）	離散時間モデルと連続時間モデル
柏木 宣久・岸野 洋久（統数研）	継続調査による誤差の推定
鎌倉 稔成（統数研）	生存時間分布関数の推定とベイズモデル
北川源四郎（統数研）	非定常モデルとエントロピー最大化
柴田 里程（慶大）	モデル選択の理論
田辺 國士（統数研）	不適切問題と統計モデル
中村 隆（統数研）	ベイズ型コウホートモデル
八木原彬殷（システム総合開発）	セメントロータリキルンの統計的制御